

第 44 回通常総会における会長挨拶

一般社団法人岩手県獣医師会第 44 回通常総会の開催にあたり、役員を代表しご挨拶を申し上げます。

本日の総会には、ご来賓といたしまして日頃多大なるご指導を頂いております岩手県議会議長様、岩手県農林水産部長様、岩手県環境生活部長様、岩手県農業共済組合長理事様、岩手県動物薬品器材協会会長様、さらには、国会が開催される中、本県選出衆参国會議員の先生方並びに秘書の皆様方には、ご多用中のところ日曜日にも拘わらずご臨席を賜りましたことに対しまして、六百余名の会員を代表し衷心より厚く御礼申し上げます。

本会顧問並びに会員の先生方には、県内各地より公私ともにお忙しい中ご出席を頂き感謝申し上げますとともに、日頃は各職域において獣医療並びに獣医事の推進にご尽力を頂いておりますとともに、本会事業運営に就きまして特段のご理解とご協力を頂いておりますことに対し役員を代表し、改めて御礼申し上げます。

本県をはじめ太平洋沿岸地域が甚大な被害を受けました東日本大震災の発生から 4 年 3 ヶ月余りの時が経過いたしました。本県における震災復興基本計画は、本年、第二期本格復興期間 2 年目として震災復興に本腰を入れることとなります。一日も早いふるさとの再生のために、国及び県におかれましてはテンポの速い施策の推進による迅速な復興の達成を願うものであります。現在、全国的に火山活動が活発化し集中豪雨等による被害が増加する中、大震災から得た重要な教訓に学び、大規模な自然災害の発生時における獣医療活動の要請等に応えるために、今後の不測の事態に備え動物救護支援体制の一層の充実を図らなければなりません。

近年における獣医療並びに獣医事をめぐる情勢は、我が国周辺のアジア諸国における口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生は後を絶たず、人と物の流通の増大とそのグローバル化により我が国への侵入リスクが一層高くなるなど、極めて緊迫したものとなっています。西アフリカでまん延し、ほぼ鎮静化したといわれるエボラ出血熱は、この地域からの感染帰国者により更なる感染事例の拡がり国際的に確認され、さらに、今年に入って韓国における MERS コロナウイルス感染症の拡散的流行や狂犬病を始めとした人と動物の共通感染症が海外から我が国に持ち込まれる可能性が極めて高くなる中、侵入と蔓延防止対策の強化が重要な課題となっています。

我が国畜産においても、一昨年発生した豚流行性下痢は、瞬く間に全国にまん延し、本県においても昨年 11 月までに 19 農場の 4 万頭を超える豚が罹患し、約 9 千頭が死亡しました。さらに、昨年 12 月から本年 1 月にかけて宮崎県、山口県、岡山県及び佐賀県において猛威を振るった高病原性鳥インフルエンザは、1 月 23 日までにすべての発生農場の防疫措置が完了し、我が国は、OIE の規定に基づき、4 月 24 日付で清浄国となりました。食鳥産業が盛んな本県にとって非常に喜ばしいことであります。

岩手県獣医師会は、公益法人制度改革により平成 25 年 4 月 1 日に一般社団法人として登記を行い、更なる飛躍をめざして新たな第一歩を踏み出し、役員一同、積極的に公

益的事業に取り組み、順調に1期2年が経過いたしました。

このことは、一重に、役員、職域部会並びに専門委員会幹事、狂犬病指定獣医師、食鳥検査員、各支会長はじめ会員の皆様方の日夜を分かたぬご尽力の賜物であり、改めて敬意を表しますとともにそれを支える事務局職員の方々に感謝を申し上げます。

今日、国民の間で人と動物の共通感染症流行制御や、「食の安全・安心」確保に関する意識と要望が大きく高まる中、獣医師が、動物の健康の保持、福祉の増進を図ることは、人と動物が共存する豊かで健全な社会を形成する上で基本的条件であり、獣医師は、動物の診療等を通じた保健衛生の向上、畜産の振興、そして公衆衛生の向上への責務、さらには、国民生活の安全・安心を守り、社会経済の発展に貢献する使命を担っています。

このような中で開催される本総会が有する意義は極めて重要であります。

第1に、「食の安全・安心」守ることに対する消費者の皆さんの関心と要望が今まで以上に高まっているなか、本会事業である食鳥検査事業において、より安全で良質な食鳥肉が提供されるよう検査員の専門研修や精密検査体制の充実に努めなければなりません。さらに、行政及び食鳥処理事業者と連携を緊密にした本事業の推進を図らなければなりません。そのための課題として、公益に資する多面的機能を具備する食鳥検査センター建設を進めることとして、それに係る議題を上程しております。

第2に、獣医界を取り巻く情勢等を踏まえ、今年度においては、「One World One Health」の実現に向けて、人と動物が共生できる豊かな暮らしを構築するために、獣医師が果たす役割と社会的要請と期待に応えていく法人としての存在価値と能力を一層高めることが重要であり、そのために、本会事業を先頭に立って推進する第二七期役員を選出することです。

第3には、今年度事業の最大課題は、十月八日から九日の二日間、盛岡市ホテル東日本を会場に開催される「東北地区獣医師大会及び三学会（東北）」であり、本会にとって実に13年ぶりの主催であります。関係者のみなさまのご協力を頂き必ず成功させなくてはなりません。更なる獣医学術の普及振興及び獣医療水準の向上を図るために本総会において全会員の認識を一つにするとともに一層のご協力をお願いしたいと存じます。

第27期における獣医師会の活動指針は、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」であります。公益に資する獣医師会活動を基本として、獣医師の社会的使命と責務を自覚し、会員のみなさまの先頭に立って獣医療・獣医事のさらなる充実と発展のために、適切かつ安定的な法人運営に努めて参る所存であります。

本日の通常総会が、会員のみなさまの積極的かつ建設的なご意見を頂戴して熱心なるご審議を賜り、激動する時代の要請に応え得る岩手県獣医師会のさらなる飛躍と発展に向けて、実り多きものとなりますよう心より念願して挨拶いたします。

平成27年6月21日

一般社団法人 岩手県獣医師会会長 多田 洋悦